






ちいさくて
あったかい
それが厚真高校

AZUKO

Hokkaido Atsuma High School

令和3年度入学案内

北海道厚真高等学校







北海道厚真高等学校

〒059-1605　北海道勇払郡厚真町字本郷 234-3
TEL.0145-27-2069　FAX.0145-27-2091

http://www.atsuma.hokkaido-c.ed.jp/

校長挨拶／教育目標／年間行事
厚真高校の笑顔になる教育活動／特別活動
現役生の声
OB・OGの声／進路先（進学状況・就職状況）
厚真高校教育振興会の支援内容／周辺マップ

「ちいさくて　あったかい　それが厚真高校」

～生徒一人ひとりを大切にする学校～



北海道厚真高等学校長　南原　賢二

厚真高校は、胆振管内東部、「厚い真心で人々がふれあう町」厚真町にあり、開校67年(昭和28年創立)の伝統ある全日制普通科の高校です。厚真町の豊かな自然、静かで落ち着いた教育環境の中で、生徒と先生の厚い信頼関係に基づき、小さな学校ならではの生徒一人ひとりを大切にした教育を行っています。生徒同士や先生との身近な距離感を生み出し、様々な活動において少人数指導の効果が生まれます。学習指導や進路指導、教育相談、課外活動などを通じて、生徒の希望や目標、個性や価値観、能力や特性などを大切したきめ細かい指導を行っており、生徒一人ひとりが生き生きと活躍でき、自信と誇りが身につく学校です。

厚真高校の特色の一つとして､本校が「地域連携特例校」､苫小牧東高校を「地域連携協力校」とし、出張授業や生徒会交流を中心に学校間連携が行われ、出張授業では、苫小牧東高校の先生を加え、少人数指導及び習熟度別授業を展開しています。また、遠隔機器を利用した遠隔授業・会議を年間通じて行い、また、生徒会が中心に互いの学校行事に参加するなど課外活動の交流も盛んです。

本校は厚真町の地域の厚い支援を基盤として、保護者や関係機関の皆様のご理解とご協力によって生徒一人ひとりを大切にする教育活動が実現できております。これからも皆様の信頼や期待に応えるため、本校教育活動の充実に努めてまいります。

教育目標

よき市民、よき社会人を育てる

めざす生徒像

- **自ら進んで学習に取り組む人**
- **適切な言語活動を通して自己表現力を高めた人**
- **広い視野と高い社会性を身につけた人**
- **豊かな感性と寛容の精神を兼ね備えた人**

重点目標

1. 基礎的・基本的な知識や技能及び読解力の向上を図るとともに、主体的に学習に取り組む生徒を育てる。
2. 言語活動や体験的活動などを通して、よりよい人間関係や社会性を育成するとともに、自己表現が適切に表出できる生徒を育てる。
3. 自己の適性を理解するとともに、将来の進路設計を明確に持ち、未来を切り拓く向上心にあふれ、課題解決に必要な思考力、判断力を持った生徒を育てる。
4. 豊かな感性や寛容の精神及び自他の生命を尊重する意識と態度を持ち、自ら正しく判断して行動できる生徒を育てる。

年間行事



入学式



厚真町田舎まつり参加



学校祭



強歩大会



見学旅行

宿泊研修



4
- 新入生事前登校
- 始業式　●入学式　●新入生歓迎会
- 授業公開・PTA総会

5
- 高体連壮行会　●生徒総会
- 携帯・スマホ教室
- 生徒会交流　●前期中間考査

6
- 生徒会交流　●避難訓練　●宿泊研修（1年）
- 進路体験談を聞く会　●田舎まつり参加　●職場体験学習（1年）
- 全校教育相談①　●防犯・薬物乱用防止教室　●小学校ボランティア

7
- 学校祭　●仮設住宅慰問
- 夏季休業　●進路講習

8
- 夏季休業　●夏季確認テスト

9
- 前期末考査　●生徒会役員選挙
- 交通安全教室　●強歩大会
- 前期終業式　●防災教室　●体育祭

10
- 後期開始　●中学生体験入学　●交通安全街頭啓発
- 企業・大学訪問　●職場体験学習（1・2年）

11
- 2学年見学旅行　●全校教育相談②
- 租税・年金教室　●授業公開週間
- 職場体験学習（1年生）　●ドライバーズセミナー

12
- 体育大会　●後期中間考査　●生徒会交流
- 冬季休業　●進路講習　●救急救命講習
- 仮設住宅慰問

1
- 冬季休業　●冬季確認テスト
- 合格体験発表会　●学年末考査（3年生）
- 3年生を送る会

2
- スキー体験学習　●学年末考査（1・2年生）
- キャリア教育講話　●生徒会交流

3
- 専門学校出前授業　●卒業式
- 修了式

校長挨拶／教育目標／年間行事
厚真高校の笑顔になる教育活動／特別活動
現役生の声
OB・OGの声／進路先（進学状況・就職状況）
厚真高校教育振興会の支援内容／周辺マップ

厚真高校の笑顔になる教育活動

～小さくて　あったかい
それが厚真高校～



一人ひとりが分かる学習活動

学習の基礎・基本を大切に

厚真高校は1学年1クラスの学校ですが、この「小ささ」が学校の長所となっています。先生方一人一人がすべての学年に入って授業を行い、基礎・基本を中心に、生徒一人一人を大切にする学習活動を行っています。また、年2回、すべての先生方がすべての生徒と教育相談を行い、学習や進路、生活などについて話し合う機会をもつなど「先生方と生徒の距離が非常に近い」学校です。



充実したキャリア教育

将来の社会的自立に向けて

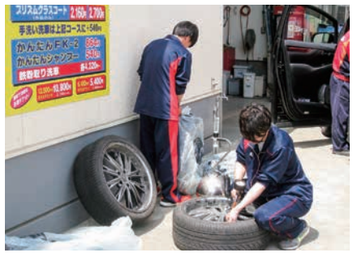


「キャリア教育」を重視する本校では、高校卒業後、一人一人が自立し活躍するために必要とされる知識や能力、態度を身につけるために、さまざまな体験的活動や行事を行っています。全員が参加する職場体験学習や専門学校出前講座、企業説明会、企業訪問、職場見学、生活安全教室、地域貢献活動など、地域の方々や企業関係者、学校関係者と連携しながら特色ある取組を行っています。

インターンシップ

令和元年度より1学年・2学年生徒での「職業体験学習（インターンシップ）」を実施しています。複数学年での全生徒インターンシップは他校にはあまり見られない取組です。

1学年では第一次産業（農林業）、2学年では第二次（製造・建設業等）・第三次産業（サービス・公務・商業等）の事業所で、実際に働く経験を積んでいます。実際に働くことで、将来の職業観・勤労観を早いうちから養成し、職業に就いた時のために備えています。



地域連携特例校

苫小牧東高校との連携



平成20年度より北海道で最も早く指定を受けています。協力校（苫小牧東高）より出張授業（国語・英語）が行われ、生徒会行事や部活動での交流を深めています。また、遠隔システムが常設され、他の特例校（虻田高・穂別高・豊富高・佐呂間高）とリアルタイムでの生徒会交流などに活用し、北海道中の高校と交流することができることが大きな特徴です。

少人数で身に付く英語授業

ALTと基礎から英会話まで

1年次は、週1～2回ALTの授業、その他に中学校英語の復習。2年次からは習熟度別にクラス分けを行い、ひとりひとりのレベルに応じた授業を受けることができます。英語の選択科目では、英検に向けた学習もできます。また、週1回、部活動ESS（英会話同好会）があり、約1時間のALTとの少人数英会話レッスンを受けられます。



全校ボランティアクラブ



平成30年度から「全校ボランティアクラブ」を組織し、全校生徒が年１回以上、地域の様々なボランティア活動に参加しています。町内小学校での授業補助員、放課後児童クラブでの指導補助員、町内交通安全運動への参加、障害を持った方々への支援活動「いけまぜ夏フェス」町民サポーターなどに参加しています。

地域連携活動

ボランティア部・家庭科授業

生徒達のボランティア活動は、豊かな人間性や社会性を身につける良い機会となっています。ボランティア部を中心に厚真町の夏祭りや文化祭へ参加、町内外の福祉施設の訪問、子ども教室の支援、清掃活動など積極的に取り組んでおり、家庭科の授業でも福祉施設やサークルの訪問、支援などを行っています。



家庭クラブ（クラブ員20名）

学校家庭クラブ活動では、家庭科の授業で学んだ事を生かして、家庭や地域生活の改善、向上を目標に調査研究、実践活動を行います。本校では、平成30年度より「ハスカップと健康づくり」をテーマに研究しています。研究成果は地域へ還元するとともに、研究の成果を全道大会で発表し、広く発信します。



各種検定・資格の取得へ向けて

資格を自分の力に



卒業後の進路に向けて、厚真高校では生徒全員の資格取得に力を入れています。本校は、情報および商業の科目を設置しており、授業と連動しながら情報処理検定、ワープロ検定、簿記能力検定、電卓能力検定などを受検することができます。その他、漢字・英語検定はもちろん、危険物取扱者資格、食品衛生責任者資格の取得などにも力を入れています。なお、厚真町からの支援により、検定料の3／4を助成してもらうことができます。

学校給食

令和元年8月より、厚真町学校給食センターより給食の提供を受けています。厚真町の学校給食は、地産地消をテーマにした「地場産食材」を盛り込んだ、評判の給食です。本校は昼食も「あったかい」学校です。



部・局・同好会

課外活動で放課後の充実

- 美術部
- バドミントン部
- 自然科学部
- 放送局
- 写真部
- ボランティア部
- コーラス同好会
- 家庭クラブ















現役生の声



生徒の意見を取り入れて学校行事の参考に。資格取得に挑戦できる環境も魅力です。



生徒の会長を務めています。生徒会のメンバーはみんな仲が良く、活発に議論できるところがいいですね。方針としては、生徒の意見を積極的に取り入れることを重視しています。学校祭や球技大会などの行事の前後に全校生徒にアンケートを取り、どんなことをしたいかを聞いてプログラムに盛り込んだり、実施後の感想を聞いたりしています。アンケート以外にも「こうした方がいいんじゃない？」と直接言われることもあり、とても参考になります。

厚真高校は、生徒の資格取得をサポートしてくれるので、卒業までに複数の資格を取ることができます。私は、3年生の前半に漢字検定や情報処理検定など5つの検定にチャレンジしました。試験日が集中している時期には、先生が放課後に講習を開き、勉強方法についてもアドバイスしてくれるので安心してチャレンジすることができます。高校時代にできるだけ資格を取得しておくと、就職や進学にも役立つと思います。

生徒会会長
3年生　蓮池　柚奈
（早来中出身）

バドミントン部の練習に打ち込む毎日。厚真高校の魅力発信にも取り組んでいます。



学校生活では一番楽しいのは部活です。バドミントン部に所属し、大会に向けて練習に打ち込んでいます。先輩・後輩のつながりが強く、充実した毎日です。厚真高校は、クラスや学年を超えてみんなが仲良くできるのが魅力だと思います。部活以外にも、昼休みに体育館で一緒に遊んだりするうちにいつの間にか仲良くなれます。

中学の頃までは人前で話したり、自分の意見を言ったりすることが得意ではなかったのですが、生徒会の書記を務めるようになってから、自分の意思を伝えることが大事だと感じました。意見を言うだけでなく、まず人の話を聞き、その上で自分はどう思うかを考えて話すことが大切だと思います。現在、生徒会では学校ホームページのリニューアルに取り組んでいて、学校祭などのイベントや生徒会の活動を紹介するページを作っています。厚真町だけでなく、近隣の町村や苫小牧市の人たちにも、厚真高校の魅力を伝えたいと思っています。

生徒会書記
2年生　高田　紗希
（厚真中出身）



OB・OGの声

患者様とコミュニケーションできる歯科技工士になりたいです。



北海道歯科技術専門学校
平成30年3月卒　福山　美琴

私は手に職をつけたいという気持ちがあり、いろいろな学校のパンフレットの中から当校を見つけ、歯科技工士という職業を知りました。美術部で手を動かすこと、手先を使うことがとても好きだったので、自分に向いていると感じ、当校で歯科技工士を目指そうと決めました。入れ歯などは患者様一人ひとり形が違い、ミリ・マイクロ単位の作業なので、繊細さや集中力が求められ大変です。でも、材料から少しずつ形にして完成させ、前より上手にできたときは成長を実感できます。厚真高校では、生徒会活動が一番の思い出です。人と話すことが苦手でしたが、活動を通じて人前で話したり、いろいろな方と交流したりできるようになりました。今の目標は、国家試験に合格すること。将来は、人と話すことが好きになれたので、患者様とコミュニケーションを取り、寄り添っていける歯科技工士になれたらと思っています。

高校で養われた忍耐力と継続力で、辛いことも乗り越えられます。



北海道千歳リハビリテーション大学
平成30年3月卒　髙橋　理奈

もともと進路は医療系を考えていました。そんな時に祖母が脳梗塞を患い、手足が不自由になったのですが、担当の作業療法士の方が動作のケアだけでなく、励ましながら精神的にもサポートされていて、私もそんなふうに患者さんを支え助ける仕事がしたいと思い、当大学に進みました。今は骨や筋肉の名称を覚えたり、体の構造や仕組みなどを理解したりするのが大変。テストも頻繁にあるので気が抜けず、勉強漬けの毎日です。でも、テストで目標点数をクリアした時は嬉しいですし、時には友達と遊びに行って息抜きをするなど、充実した生活を送っています。厚真高校では、勉強や学校生活を通して忍耐力と継続力を養うことができ、辛いことがあっても途中で諦めずに乗り越えられる力になっています。将来は、祖母を見てくれた方のように、人から信頼され、お年寄りの役に立てるような立派な作業療法士になりたいと思っています。

今は仕事の全体像を覚えることが目標。先輩の仕事ぶりから多くを学んでいます。



トヨタ自動車北海道株式会社
平成31年3月卒　佐藤　諄也

小さい頃からプラモデルなどを組み立てるのが好きで、就職するときにも物を作る仕事に就きたいと思いました。現在はトヨタ自動車北海道の工場で４輪駆動車に使われる部品の組み付けに携わっています。部品の製造工程は全部で13あり、私はその中の4工程を担当しています。自分の作業をきちんとこなすのはもちろんですが、前後の工程についても理解していないと品質の良い部品に仕上げることはできません。現在の目標は、全ての工程を理解できるようになること。職場に目標としている先輩がいるので、その人の仕事を見学し、工程の流れや作業のコツなどを学んでいます。

高校時代は生徒会で書記を務めるほか、バトミントン部で活動するなど充実した毎日を過ごしました。厚真高校は先生と生徒との距離が近く、施設・設備も充実しており、落ち着いた環境で勉学や資格取得に集中できるところが大きな魅力ですね。

仕事の責任感を実感。地元のみなさんに育てていただいています。



苫小牧信用金庫
平成30年3月卒　高田　さつき

地元で働き、地元の方々の役に立ちたいという思いから、地域にとって大切な当庫を志望しました。現在は、後方事務と窓口業務を交互に担当していますが、まだまだ緊張の連続です。お金を扱うので1円のミスもできませんし、ミスは当庫全体の信用にも関わるので大きな責任を実感しています。また、商品や取引先など覚えることや、資格の勉強などもあり大変です。でも、お客様と接するのはとても楽しく、新人の私に「頑張ってね」「ゆっくりでいいよ」と声をかけてくださり、みなさんに育てていただいている感じがします。高校では6つの資格を取りましたが、パソコンの資格は事務に活かされ、介護の資格はお年寄りの対応などにとても役立っています。人数が少ない分、先生方が生徒一人ひとりを気にかけてくれて、なんでも相談できるのが厚真高校の魅力。小さな学校だからこそできることがあるので、ぜひいろいろな経験をしてほしいと思います。

進路状況（過去3年間）

平成29年度卒業生

	進学			就職				未定者	合計
	大学	短大	専門学校	町内	管内	道内	道外		
男	2	0	1	0	11	3	0	0	17
女	1	0	6	0	11	2	0	0	20
計	3	0	7	0	22	5	0	0	37

平成30年度卒業生

	進学			就職				未定者	合計
	大学	短大	専門学校	町内	管内	道内	道外		
男	0	0	1	1	6	1	0	0	9
女	0	1	4	0	6	0	0	0	11
計	0	1	5	1	12	1	0	0	20

令和元年度卒業生

	進学			就職				未定者	合計
	大学	短大	専門学校	町内	管内	道内	道外		
男	0	0	0	1	15	1	0	0	17
女	0	0	0	1	9	0	0	0	10
計	0	0	0	2	24	1	0	0	27

過去3年間の主な大学・短大、専門学校　進学先

札幌大学　スポーツ文化専攻	千歳科学技術大学　理工学部
北海道千歳リハビリテーション大学　作業療法専攻	栗山町立北海道介護福祉学校
創価女子短期大学　国際ビジネス学科	光塩学園調理製菓専門学校
日本航空専門学校	北海道介護福祉専門学校
北海道情報専門学校	経専北海道保育専門学校

過去3年間の主な就職先

三菱製鋼室蘭特殊鋼（株）	厚真町土地改良区
野口観光ホテルプロフェッショナル学院　総合調理学科	株式会社ホクリョウ
株式会社　三星	苫小牧信用金庫
トヨタ自動車北海道株式会社	株式会社ダイナックス
日本製紙北海道紙工株式会社	株式会社イワクラ
北海道パワーエンジニアリング	宗教法人　樽前山神社



地域一丸となって皆さんの学習活動を応援します!

厚真高校教育振興会の支援内容

北海道厚真高等学校教育振興会は、厚真高校の地域に根ざした特色ある教育活動の支援を目的に設立された組織で、通学や各種資格取得に要する経済的負担の軽減や学校活動などへの支援、キャリア形成に要する経費の支援など、厚高の教育活動や生徒・保護者の皆さんを側面から応援します。

沼ノ端線が運行開始

沼ノ端駅前から乗り換えをしないでバス通学ができるようになりました

平成29年1月からあつまバスが運行している路線に沼ノ端線が新設され、沼ノ端駅前から厚真高校前まで乗り換えをしないで通学できるようになりました。

通学費の助成

通学費の５分の４を助成

公共交通機関を利用する通学生の通学費用を助成します。（下宿費用は1/2を助成）

●JR苫小牧駅から通学する場合

＊JR定期代（苫小牧駅～沼ノ端駅）…… 1ヶ月6,320円
＊あつまバス定期代（沼ノ端駅前～厚真高校前）
…… 1ヶ月24,600円
定期代の合計30,920円のところ、24,736円の助成により実質負担額6,184円に!

●JR沼ノ端駅から通学する場合

あつまバス定期代（沼ノ端駅前～厚真高校前）
…… 1ヶ月24,600円
定期代の合計24,600円のところ、19,680円の助成により実質負担額4,920円に!

●JR早来駅前から通学する場合

あつまバス定期代（早来駅前～厚真高校前）
…… 1ヶ月15,480円
定期代の合計15,480円のところ、12,384円の助成により実質負担額3,096円に!

●上厚真から通学する場合

あつまバス定期代（上厚真～厚真高校前） 1ヶ月21,240円
定期代の合計21,240円のところ、16,992円の助成により実質負担額4,248円に!
※あつまバスは片道定期もあり、助成の対象です。
※あつまバスの定期は、あつまバス本社窓口で定期代の5分の1の額で購入することができます。

町内通学生への支援

実費相当額を支援

町内の通学生徒（公共交通機関利用者を除く・片道が2km以上が対象）は、通学に要する実費相当額を支援します。

資格取得への助成

各種資格取得に要する検定料の４分の３を助成

厚真高校生徒は、様々な資格や検定に取り組んでいます。令和元年度は実用英語技能検定、情報処理技能検定、ワープロ検定、危険物取扱者、漢字能力検定等に延135人の生徒が果敢にチャレンジしました。

履歴書に記載できる資格取得を目指してこの支援を活用してください。なお、回数制限はなく、合否は問いません。

その他の支援

●大学や企業見学の際のバス借上げに対する支援
●スキー体験学習でのインストラクター招聘に対する支援
●地域行事（田舎まつり）への参加に対する支援
●その他特色ある教育活動等への支援

厚真の豊かな自然の中でおちついた高校生活を送りませんか!

厚真町は、山あり、海あり、湖沼ありの自然豊かなマチです。丘陵地帯には水田や畑が広がり、収穫時にはマチが黄金色に色づきます。
四季の移ろいを実感できる自然豊かな中で、厚真町はおちついて高校生活を送ることができるマチです。

厚真の公式キャラクター

あつまるくん

厚真の公式キャラクターあつまるくん。厚真の特産品のコメ、ハスカップ、道内屈指のサーフポイントにちなみサーフボードを背負っています。



❶こぶしの湯あつま

厚真高校の近くには日帰り入浴のできる公共の宿「こぶしの湯」があります。あつまスタードームなどを利用してたくさんの高校生や大学生が合宿をしている施設です。



❷あつまスタードーム

厚真高校の隣にある「あつまスタードーム」は、道内でもベストスケールを誇る「全天候型多目的土間体育館」。一年中、テニス、サッカー、野球を楽しむことができます。





❸サーフィン・ボディーボード

浜厚真海岸は道内でも有数のサーフィンのメッカとして知られています。冬期間以外は通年で道内のサーファーが太平洋の大波を楽しんでいます。



厚真の特産品

厚真産ハスカップ

厚真町はハスカップの作付面積が日本一。「厚真産ハスカップ」は地域ブランドとして市場でも高い評価を受けており、美容や健康に良い効果が期待できると近年の研究でわかっています。



厚真のイベント

スターフェスタ
（冬の花火大会・干支文字焼き）

2月にこぶしの湯付近で行われる「スターフェスタ」は、雪景色を背景に花火と干支文字焼きの競演。厚真町ではほかに6月に田舎まつり、7月に海浜（はま）まつりなどイベントが盛りだくさんです。

